

八幡液化ガス株式会社（福岡県北九州市）



八幡液化ガス外観

福岡県北九州市に位置する八幡液化ガス株式会社は、LPガス供給事業から暖房器具、ガスコンロなどの機器販売、配管工事と幅広い事業を手がける。さまざまな資格や知識を有している脇岡照明代表取締役社長を中心に、社員が顧客と対面であらゆる問題を提案、解決。少数精鋭の8人からなる地域密着の会社として親しまれている。

自動化で効率的な働き方に

費用対効果よりも基本的なミスが減らすことで業務の削減や、短く効率よく働くことで社員のモチベーション向上のきっかけになればとシステムの申請を決断。

脇岡照明代表取締役社長



思い描いていたシステムに最も近く、従来のネットワークコントロールユニット(NCU)の保安を引き継げるメーカーを選定。「不安定になることもなく、通信エリアや電波の安定性に対するコストパフォーマンスはとても良い」と話す。従来使用していたNCUをIOT-Rに切り替え、遠方の顧客や駐車場がない地域、業務の効率化が図れなかった地域を優先して取り付けた。駐車場がない地域の検針は検針員と運転手の2人で業務に当たっていたが、自動化により大幅な人員・コスト削減につながった。

「人が介入しなければならない業務に空いた時間をシフトすることでミスを減らすことができる。これからの人員不足を見据えて、IT化で業務は短く効率よくしていくべき。また、余裕ができれば有給取得にも繋がり従業員の健康管理や士気向上にもなる。経営者は時代の流れをつかむ感性を持ち行動に移すべき」と肱岡社長。

検討者へのアドバイス

導入するのであれば、自社のシステムに合わせた機器選定が必須。「ペーパーレス化が後回しになるとはがき代や郵送代等でコスト増になる場合もある。物にお金を払うのか、人件費にお金を払うのか、の違い。ケースによっては従来通りの訪問検針を継続した方がいい場合もある。使用料金をお客様に確実に伝えるのが検針業務。検針作業だけデジタル化するのではなく、そこから先、お客様に届くDX化を目指すことが必要」と肱岡社長。また、今後の事を考え通信機器の導入には拡張性が大事だと付け加える。

時代に即した変化を

「現状、検針コストはシステムの更新作業やお客様とのコミュニケーションを考えれば大きく効果は得られていない。作業のデジタル化だけでなく、メール等も活用し検針業務全体をデジタル化。そして将来はペーパーレス化を目指していきたい。給与はそのままに従業員の業務を減らしていけるよう、時代に合わせて会社も変化していくべき」と肱岡社長は、熱く語る。

会社概要と LPWA 通信システムの実態調査票

会社名	八幡液化ガス株式会社		所在地	福岡県北九州市八幡西区夕原町 12-7		
社長名	脇岡 照明		事業責任者	武廣 慶一	役職名	部長
連絡先	部署名	無し	ホームページ	www.yahatagas.co.jp		
	担当者名	松永 仁美	電話番号	093-691-3931	従業員数	10 名
会社設立	1982 年 8 月 23 日					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・LP ガス供給事業 ・機器販売 ・配管工事 					
会社の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・地元根差した企業として、外部委託することなく、社員が対面でワンストップであらゆる問題を提案・解決していく。 ・社員の意見を上手く業務に反映できる少数社員の強みを持っている。 					
お客さま件数	合計 2,800 件 (うち家庭用 2,775 件、業務用 25 件)					

LPWA 通信システムの 具体的活用状況 (システム・サービス等 の概要)	<input checked="" type="checkbox"/> システム連携 <input checked="" type="checkbox"/> 販売管理 <input checked="" type="checkbox"/> 料金請求 <input type="checkbox"/> 配送 <input checked="" type="checkbox"/> 保安 <具体的活用方法> 自動検針、残量管理、配送管理、電子請求、遠隔操作					
	<申請前における業務上の問題点> 検針業務のミス、手間の増大 営業担当の業務増大 <導入によって期待する効果> 社員の業務負担の軽減					
導入費用総額	5,940,000 円 (内補助金対象 4,500,000 円)				補助金額	2,250,000 円
導入期間	補助金 申請日	令和 3 年	機器設置 完了日	令和 4 年	所要期間	2 ヶ月
		6 月 30 日		1 月 17 日		

実行体制	合計	6 名	うち社内	6 名	うち社外	0 名
-------------	----	-----	------	-----	------	-----

■ LPWA 通信システム導入までのスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
仕様検討	←→											
メーカー選定	←→											
設置先の選定	←→		→									
補助金申請書作成	←→		→									
事前調査	←→											
事前周知								←→				
工事期間								←→				
試験運用								←→				
本格運用										←→		
メーカー講習会				←→			←→					

通信機器メーカー選定の決め手	・通信エリア、電波の安定性に対するコストパフォーマンス
導入・設置を進める中で生じた問題点とその改善策	<p><発生した問題点> 半導体不足下で機材が入ってこず、2 か月ほどで設置しなければいけなかった。</p> <p><上記問題点を改善した方法> マンパワー</p>
導入によって得られた効果や、想定外の効果	検針効率がよかった。ミスが減った。
効果の額	検針費用的には変わらず。事務の確認作業等金額に換算できないプライスレス部分
反省点	特になし
今後の拡張方針	<input checked="" type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input checked="" type="checkbox"/> 料金請求 <input type="checkbox"/> 配送 <input type="checkbox"/> 保安 <input checked="" type="checkbox"/> その他（電子決済）

自己評価 5 または 4 の場合は () 内に具体的内容	申請作業 ()	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
	仕様確定 ()	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
	メーカー選定 ()	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
	事前周知 ()	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
	工事作業 (時間不足)	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
	試 運 転 ()	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
	その 他 ()	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
申請から導入後 (現在) までの反響・意見・要望	社内から	当日指針がとれる。						
	社外 (業界・取引先) から	特になし						
	お客さまから	特になし						
補助事業申請予定者へのアドバイス (こうしておけば良かった、注意すべき点等)		自社のシステムにどう反映できるかを事前に確認して、機器選定すべき。検針業務だけで済ませるなら導入すべきではない。						